

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS名東校		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様と指導員1対1の個別療育を行っていること	・障がい名に捉われず、幅広い視野と知識によって、発達生理学に基づいたチェックを行い、一人ひとりの得意・不得意を分析し、その子にあった支援を行っている。個々に最適な療育を行うことによって、脳や心身の発達を促し、自立に向けての土台作りを行う。	・日々の職員間の連携や保護者様との関係作りをさらに強化し、利用者様・保護者様のニーズを適切に把握することによって、よりよい支援に繋げていく。
2	・万遍なく専門的な支援を行っていること	・感覚統合、原始反射の統合、ABA、TEACCH、SST、ビジョントレーニングで構成され、脳科学に基づいた運動療育プログラムを実施している。	・年齢や環境の変化に応じ、利用者様に沿った支援を意識する。また、職員個々の支援スキルの向上を行い、より適切で利用者様、保護者様のニーズに応じた支援を行っていく。
3	・研修制度やスーパーバイザーにいつでも意見を求めることができる環境が整っている。	・入社後、2週間に及び基礎研修、実地研修を行う。 ・実施済みの研修の動画や資料を見ることができ、随時研修を受けることができる。 ・2025年に新たにトレーニングルーム内に高解像度のカメラを設置。支援内容の検討などを事後に検証できるハードを整えた。	・研修終了後も常に高い意識を持ち、職員ひとりひとりがスキルアップを目指しながら日々の業務に取り組む。チーム内でPDCAを繰り返し、わからないままにせず解決に向けて向上心を持っていく。また、スーパーバイザーへ意見を求めながらよりよい支援が行えるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・名東校において、表面的ではあるが支援者の異動が多い。管理者の変更も多かった。	・本部校という性質もあり、コーチの研修を受け入れている。研修のコーチを楽しく受け入れられる子ども・ご家族もいれば、不安になる子ども・ご家族もいる。 ・管理者の変更も、漠然とした不安に繋がっている。	・研修者の位置づけや研修の意義などを丁寧に説明して、ご理解をいただく。 ・他校に研修の一部を担ってもらい、名東校を利用されている本人・ご家族の心理的負担を軽減する。
2	・集団的な支援の実施が難しい。	・一人ひとりの可能性を引き出し、個性を活かす個別療育を行っているため、集団的な支援や活動が出来ない。	・脳科学に基づいた独自のプログラムを行うことによって、神経発達を促し、言語発達、集中力の向上に繋げ、さらには人との距離感を身に付け、集団で必要となるコミュニケーション能力も養っていく。 ・同時間利用の他児との関係において、SST等が実施できるよう引き続き意識をしていく。
3	・本人の自発性を大切にしていることから、運動を避けてしまう対象児に対してのアプローチが不十分な時がある。	・運動への自発性を引き出す技術が不足しているように感じる。 ・対象児との信頼関係構築に課題があるように感じる。	・どのようにしたら運動に気持ちが向くかなど、引き続き支援員間でアイデアを出しつつ、取り組んでいく必要がある。 ・やられる運動では効果が薄いため、どのように関われば自発性を持って取り組んでいただけるか引き続き模索していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					利用児童数		回収数	
S.I.C.KIDS名東校		2025 年 8 月 15 日					23		17	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	0	・他の子と2人で使うには少し狭いと感じる。 ・冬でも汗だくになっているので十分であると思う。		お二人での利用の際は、教具の配置等を変えるなど、スタッフがより連携して対応していきたいと思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	0	・受け渡しの際、すぐに職員の方が出迎えてくれるため適切だと思う。		今後も適切な配置が維持できるよう努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	2	・トレーニングルーム、ミーティングルーム、トイレなど子どもが把握できている。		今後もお子様が支援に集中できるような環境整備に努めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0	・入口にゴミもなく、綺麗です。		今後も心地よくお越し頂けるよう努めてまいります。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2	0	0	・研究に基づいているS.I.C.独自のプログラムのため、客観的な専門性の評価はできない。 ・面談で詳しくお話を聞いてくれる。特性に応じた支援を受けられていると感じる。		より信頼していただける支援を目指し、プログラムや理論のさらなる体系化、エビデンスの収集、専門機関への働きかけなど、今後も精進してまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0			齟齬が生じないように油断せずに注意してまいります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0			モニタリングや支援の様子を踏まえ、ニーズや課題を客観的に分析し、支援計画を立ててまいります。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	2			今後もお子様の成長をともに感じられるよう支援してまいります。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0	・支援目標と連動するトレーニングを実施してもらっている。		支援会議を経て作成された個別支援計画を基にトレーニングプログラムを立てております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2	0	2	・子どもの遊びに付き合ってもらっているため、伸ばしたいところをもう少し取り入れて欲しい。		ご本人の能動性・自発性を大切にしつつも、保護者の方の想いやニーズを運動に反映できるよう支援力向上に精進してまいります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	6	5			本部主催のファミフェスにご利用者様をご案内しております。	
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0			今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	0	1			保護者様へ支援開始前に支援計画を説明し、同意を得ております。今後も丁寧な説明を行ってまいります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	0	3			保護者セミナーや座談会等を通し、家族支援プログラムを行ってまいります。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	1	0	・短時間のため、共通理解の時間は少なく感じる。		ご指摘ありがとうございます。丁寧なアセスメントを心掛け、共通理解を持てるよう努力してまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	1	1			定期的な面談時以外でも育児に対する助言や支援が行えるようお声掛けをし、ご希望に対して迅速に対応してまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0			ご本人や保護者様の想いに寄り添って支援をしていきたいと思っています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	4	4	保護者同士の交流の機会は？だが、ZOOMを通じた保護者向けセミナーやファミリーフェスティバルがあるのでそういう面では支援がある。		引き続き保護者セミナーや座談会等を実施してまいります。そして、保護者同士の交流についても検討してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	4	1	2		今後とも相談があった際には迅速に対応してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	1		今後それぞれにあった伝達方法を行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	0	4		公式LINEやSNS等を活用し、今まで以上に情報を発信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1		より一層個人情報の取り扱いに注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	1	4	・マニュアルは符合にあるが、訓練の実施の有無は不明。	訓練の実施をあまりお知らせはしていませんでした。皆様の安心に繋がるとしますので、今後はSNSなどで情報発信をして、お伝えしていければと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	0	6	・不明 ・定期的に避難訓練をされています。	今後定期的に避難訓練を実施してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3	0	1	・計画の周知は不明。	安全計画は閲覧可能な状態で設置されておりますが、これまで以上に保護者様への周知を進めていきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	3	0	3	・些細なことでもすぐに伝えてくださっています。	利用者様の安全を第一に考え、小さなことであっても自己判断せずに管理者や保護者様に報告するよう徹底しております。今後も引き続き同じ対応を継続してまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		引き続き安心して通所していただけるよう精進してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	・毎回、通所するのを心待ちにしています。	ありがとうございます。皆様に満足していただけるよう精進してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2	0	0	・子どもが楽しく通え、身体を鍛える動機付けにはなっている。	皆様に満足していただけるよう精進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
S.I.C.KIDS名東校		2025年 8月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースは確保しております。	お子様同士がぶつからない様に配慮しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置しております。	児童指導員、保育士を適切に配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様の特性に合わせ、構造化に努めています。	玄関に段差があり一部バリアフリー化されていない箇所はあるが、構造化についてはお子様に丁度良い範囲で実施する様にしています。また、移動範囲は障害物が無いようにしています。必要に応じて設備を整えてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除、消毒、換気を徹底して実施しております。	お子様が支援に集中できるような空間づくりを心がけております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		面談室はいつも利用可能な状態になっています。	特にアナウンスはしていないため、必要そうなお子様には事前にお伝えしていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		事業所で目標を設定して、よりよい療育の向上を図っております。	日頃の療育を振り返り、改善に繋がるようにミーティングを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		集計を取り、事業所内での情報共有、今後の支援等をより良いものにしてまいります。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に職員会議を実施し、職員の意見を把握しています。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は行っておりません。	第三者評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内や外部研修に参加しております。	定期的に行っていけるように取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表されております。	より充実したものになるよう努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリング、職員間の情報をもとにお子様、保護者様のニーズに応えられるように作成しております。	今後も常にお子様及びその保護者様の立場にたって、効果的な支援を行うように心がけてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画を作成する際には、全支援員が参加する支援会議を開催し、共通理解を持ちつつ、最善の利益を検討しています。	出来る限り多くの支援員が同時に集まれるように努めてまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画はファイリングするのみならず、毎回、内容を記載した別紙を作成し、支援員が支援するごとに確認しやすいよう工夫しております。	引き続き計画に基づく支援を努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々、行動を観察して、支援者間で共有をするように心がけています。	ABA分析をする際に用いるABC記録表を使いやすいものにアップデートするなどの改善はしています。ツールだけではなくその内容についても精度を高めていきたいと思っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに準じた型でひな形を作成しております。	引き続きガイドラインの内容を踏まえながら支援内を設定していきたいと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のプログラム作成は個人で行っているが、支援者間で情報共有をしつつ行っている。	引き続き、チームで情報を共有しつつ、立案にあたるよう努めてまいります。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		前回までの支援結果・記録を閲覧できるようにしており、それを参照して固定化しないようにプログラムを設定しております。	引き続き活動プログラムが固定化しないよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様が必要としている力をつける為に支援計画を作成しております。	集団活動に問題なく行動できるよう個別で支援してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、朝礼で確認を行っております。	共有しやすいように、内容を精査し実施しております。朝礼で伝えきれなかった内容については、都度丁寧に確認、報告を行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		当日の終礼で振り返りを行っております。また、終礼での報告をアプリで記録し、当日出勤でない職員にも共有出来るようにしております。	気づいた内容など記録に残しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援実施後、支援経過記録を記入し、終礼で共有しております。	個別ファイルに保存し、支援の向上資料として使用しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回以上、モニタリングを行っております。	必要に応じて、早めにモニタリングを行う事もあります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		招集の都度、可能な限り出席しております。	引き続き、児童発達支援管理責任者が出席するように努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		支援のため必要があると思われる際には、関係機関に連絡をとり、連携をしております。	現状では“必要に応じて”という状態であるため、より連携をとれるように日常的な連携に努めてまいりたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援のため必要があると思われる際には、関係機関に連絡をとり、連携をしております。	現状では“必要に応じて”という状態であるため、より連携をとれるように日常的な連携に努めてまいりたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援のため必要があると思われる際には、関係機関に連絡をとり、連携をしております。	現状では“必要に応じて”という状態であるため、より連携をとれるように日常的な連携に努めてまいりたいと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		名東区の部会に参加し、必要が生じた際には地域のセンターと連携がしやすいように意識している。	現状では“必要に応じて”という状態であるため、より連携をとれるように日常的な連携に努めてまいりたいと思います。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		9月23日に名古屋市障害者スポーツセンターにてコミュニティ会を実施予定。	本部主催のコミュニティ会をご利用者様にご案内しております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後、保護者様に支援内容等をお伝えし、保護者様からはご自宅等の様子をお聞きしております。	伺った内容は職員間で共有しております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	アンケートを実施するなどし、保護者様のニーズを把握し、研修内容に活かしております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させて頂いております。	今後も分かりやすさを意識して行なってまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成前にはモニタリングを実施し、ご本人にとってのベストインタレストを意識し、ご意見を伺っております。	ご利用者本人の意見を直接ヒアリングをする機会・時間があまり取れていないので、改善していこうと思います。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者様へ支援開始前に支援内容を説明し、同意を得ております。	今後も分かりやすさを意識して行なってまいります。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際に迅速に対応しております。内容は職員間で共有しております。	こちらから積極的に声掛けをするようにしております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者セミナーや子育てコミュニティなどを実施しております。	交流が出来る環境整備を行ってまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際は迅速に対応いたします。内容は職員間で共有しております。	管理者が相談窓口になっております。施設内部だけで解決が難しい場合は、保護者様の意向を汲みながら、関係期間との連携を行ってまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムや公式LINE等のSNSで発信しております。	個人情報の保護に留意してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類は鍵付き書庫にて保管しております。パソコン等はパスワードなど設定しております。	書類使用後は速やかに書庫に戻し、施錠する事を徹底しております。また、プライバシーマークを取得しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		構造化や分かりやすい表現の仕方を心がけてまいります。	それぞれの方に合わせた伝達方法をおこなっていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		毎年、県内の高校生インターシップを受け入れております。	周辺地域を対象とした行事等は企画していません。検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		保護者様の目が届く場所に保管しております。訓練も実施しております。	保護者様への周知を徹底いたします。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練を行っております。	訓練を事前に書面や公式LINEで告知するようにしてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者様にアセスメントをさせて頂いております。	保護者様へ確認し、アセスメントシートの記入、修正をしております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様へ確認し、アセスメントシートの記入、修正をしております。食事、おやつ提供はおこなっていません。	必要に応じて、医師の指示書を頂くようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		保護者様の目が届く場所に保管しております。	保護者様への周知を徹底いたします。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者様の目が届く場所に保管しております。	保護者様への周知を徹底いたします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		見逃しが無いよう多様な視点で見えるようにいたします。	会議を行い職員間で情報共有を行ってまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に事業所内で研修を行っています。	研修実施記録を残していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に保護者様に説明させて頂いております。必要に応じて計画書に記載し、サインを頂いております。	身体拘束等適正化のための指針に基づき行動しております。